

## 矢部阿蘇公園線理事会・総会

(令和7年9月2日)

9月2日、南阿蘇村役場大会議室において「主要地方道矢部阿蘇公園線 整備促進期成同盟会」の総会が開催された。来賓に3名の県議の他、森林管理署、阿蘇地域振興局、上益城地域振興局の方々を迎え2つの議案審議が行われた。議事は円滑に進行し、すべて原案通り承認された。

矢部阿蘇公園線が全線開通すると、観光面では上益城・宇城地域へ回遊波及効果、国道57号線の混雑回避、滞在時間増による観光産業の活性化の期待。防災面では大規模災害発生時に避難場所や物資輸送の拠点基地となった「道の駅」の存在が防災機能として重要性の高い路線になる。産業面では全国一のトマトや農林産物を新鮮なうちに遠方に運ぶことが可能になる。以上のような整備効果を広くアピールすると同時に、関係機関に向けて未供用区間の早期着工を要望していくことを申し合わせた。



## 議員報酬見直し協議開始

全国の地方議会で議員のなり手不足解消の解決策の一つとして議員報酬見直しが活発化している。南阿蘇村議会では議会改革の一環として、議員定数を14名から12名に削減した。一方で定数削減後も議員報酬は据え置かれている状況である。財政の健全化という観点からは評価される一方で、議員として魅力を高め、若手や子育て世代など多様な人材が立候補しやすい環境整備など課題を残す。将来にわたり村政を担う多様な人材を確保し活発な議論を継続していくために、当議会でも議員報酬のあり方の検討を始めたところである。